

COMPUTEX 台北】GAMDIAS の新作はゲーミング PC ケース、ファンなど～USB ポート系も RGB LED コントロール可能に

COMPUTEX 台北 2019 では GAMDIAS さんにご招待頂いたので、お邪魔しました。



ケースやファンの RGB 化がとどまらない

GAMDIAS では、TALOS などの RGB LED ケースを出していましたが、新しい ATHENA M1 ケースを発表していました。TALOS シリーズではガラスパネルでしたが、ATHENA M1 ではメッシュ(ATHENA シリーズ共通)を採用。但し ATHENA M1 では従来のガラスパネルも付属し、交換が出来るようになっています。エアフローとしてはメッシュのほうが良いのですが、ガラスのほうが高級感があるしと悩む方用に両方用意しているのはありがたいですね。



また RGB LED は USB ポート類の部分にまで採用され、ファンと USB ポート類のそれぞれを物理ボタンで変更可能になっています。





また ARGUS M1 というミッドタワーケースも発表。派手すぎないながらも L 時型の LED ラインが特徴的なケースです。



こちらも同様に USB ポート系と L 時型の LED ラインを別々にカラーコントロールが可能。



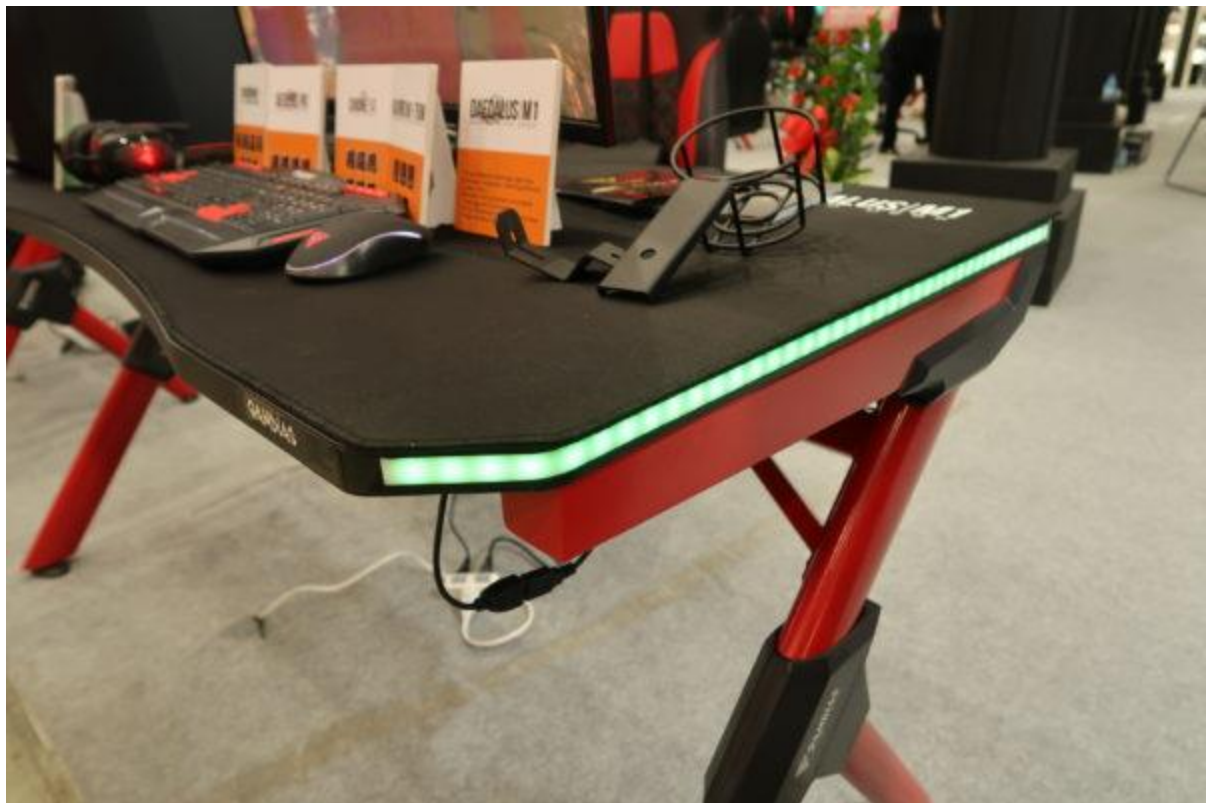
本体ファンや水冷ファンの LED コントロールユニット「CHIONE」シリーズも展示されていました。カラー変更は付属のカード型リモコンで可能。



物理的なカードリモコンはなくしやすいので、ソフトウェアコントロールはできないの？と聞いたら、対応マザーなら制御可能との事で恐らくは ASUS「AURA Sync」や GIGABYTE「RGB Fusion」、MSI「Mystic Light Sync」などに対応するのでしょう。今後発売されるモデルなので詳細はまだだが独自規格にはしない(する価値も無い)でしょう。昨年も COMPUTEX で発表し、実際日本の店頭にも並ぶのが 10 月頃だったので、ケースやファンといったアイテムを私達が見ることができるのは秋口になるかも知れません。

ゲーミングはデスクやチェアにまで発展

昨年あたりからゲーミングチェアにも LED を搭載してゲーミング度合いをアピールする方向性が出ていましたが、今年はゲーミングデスクにも LED が搭載されています。以下は DEADALUS M1 というデスク。デスク上にある丸い網目のものはドリンクホルダーで、デスク上に置いておくところほす可能性があるので、ホルダーを独立させているとの事。裏にはケーブルガイドなどもあり、さすがは専用設計。



こちらは DEADALUS E1 という最廉価の比較的コンパクトなデスク。LED は非搭載でシンプルなデスクですが日本だとこれぐらいのデスクが丁度良いサイズ。価格は 460 ドルぐらいと決して安くはないですが、チルト機構があり立ってプレイもできる。座りっぱなしだと健康のためにも良くないですね。ゲーミングチェアも LED は止めたようで、お財布に優しくなったと言っていました。それでも最廉価で 2 万円台という価格帯なのでな

かなか手が出づらいですが、座った瞬間に包まれるような快適さが魅力的です。



まとめ

GAMDIAS というと、マウス/キーボード/ヘッドホンメーカーという認識でしたが、ここ1-2年ですっかり変わり、ゲーミング関連機器総合メーカーのようになってきました。今回紹介してないのですが PC モニターなども GAMDIAS ロゴが付いて(恐らくは OEM でしょうが)、ゲーミング PC 周りの関連アイテムは全部あるような印象です。

COMPUTEX 台北に出展しているメーカーに共通するのですが、PC ケースやファン等 LED コントロールなどは、主要メーカーよりもケース等の小規模メーカーのほうが積極的に面白い事をしようとアイデアを出し、そして具現化しています。こういう小さいメーカー達が一つのうねりを造りだそうとしているのは、「小回りが利かない大メーカーには出来ない仕事」だし見ていて面白いし応援したくなる情念を感じます。

From: <https://butsuyoku-gadget.com/gamdias-computex2019/>